

2 巻頭言

特集論文

6 現在、即興、流れの詩学

—現代アメリカ文学の弱さと愛おしさについて

加藤雄二

21 自己の翻訳可能性をめぐる試論

—自分自身を説明できない主体についてのタラル・アサドと

島蘭進の議論を結ぶ

丸山空大

38 「ドイツ的とは何か？」

—ある同時代的な現象について

山口裕之

特集エッセイ・随筆

56 小説家「うさぎ」の誕生と手書き小説のはじまり

—ポル・ポト政権崩壊後に文学を甦らせ育んだもの—

岡田知子

自由論文

65 キロンボとアフロブラジル文学

—カルロス・ジ・アスンサオンとオリヴェイラ・シウヴェイラの詩を通して—

武田千香

93 『正解主義に抗うボーカロイドアート：ボカロP・r-906 と考える多文化共生を拓く対話の可能性』

田島充士・r-906・山本登志哉

報告 (2024年活動報告)

119 愛知県芸術劇場 ダンス・スコール特別講座シンポジウム

「踊る文字—アヴァンギャルドが見た文字と身体」

(山口庸子)

123 (一社)日本詩人クラブ10月例会〈国際交流〉プログラム

言の葉を紡ぎ自由を希求する

—ペルシア詩人たちからのメッセージ

(田代智恵子)

127 ペルシア語読書会

「Dr. デフガーニーと読む

ルーミー著『精神的マスナヴィー』及び
公開講演会「ペルシアの抒情詩」

(田代智恵子)

131 ユーリー・オレーシャ生誕125周年記念連続講演 第1回

児童文学『三人のふとつちよ』の表と裏：
作品完成100周年記念

(古宮路子)

134 ワークショップ

「核をめぐる文学的想像力」

(橋本雄一)

書評

138 監修 田島充士 編著 藤倉憲一・武元康明

『TAKT 授業のデザイン

批判的対話がつむぐ笑顔の教室』

森本信也

143 柴田勝二著

『劇作家三島由紀夫—「お芝居」のなかの告白』

友常勉

147 編集後記